

3 学期終業式 校長先生のお話「白いバケツ」

はじめに問題です。「145」これは何の数でしょう。1年間に一人が借りた図書館の本の数です。たくさん読みましたね。

さて、3学期の始業式にバケツのお話をしました。白いバケツは、水がどんどんたまる。緑のバケツは水が漏れる。赤いバケツは水が入らない。3学期に皆さんが白いバケツのように素直な心で取り組んだことについて学年の先生方に聞いてみました。

1年 作文の学習で、友達どうして読み合ったとき、小さい「っ」が抜けているのを教えた友達がいました。すると「あ、そうか。ありがとう。教えてくれたからいい作文になった。」と答えたそうです。こういう素直な人は、いろいろな人から教えてもらって、どんどん成長しますね。

2年 担任の先生が6年生を送る会のダンスや縄跳びを提案したところ、みんなが素直に頑張っ

3年 「自分のバケツは一つだけ穴が空いている。それは家の人の言うことを聞かないこと。素直に聞いて、穴を埋めたい。」と担任の先生に話した3年生がいたそうです。この人はこれから大きく成長することでしょう。

4年 スキー教室、4年生は初めてだったけれど、インストラクターの言うことをよく聞いて、午後には全員がリフトに乗ることができました。

5年 学年みんなが仲良くなるために、一緒に体育のバスケットをしました。声を掛け合い、パスをつないで、楽しい授業になったとのこと

6年 1月の大雪の時、当たり前のように雪を片付ける姿、休んでしまった人の代わりに児童総会の議案書を作る姿がありました。

桜組 児童会の説明をわかりやすく話したり、よく聞いたりすることができました。

杉の子組 声を掛け合っ

このように、人の言葉を素直に受け止め、成長していく姿がありました。



さて、白いバケツには、一つだけ気を付けてほしいことがあります。どんなことでしょうか。では、この水の中に墨を入れてみます。こんな水になってしまいました。白いバケツには真っ黒な水が入ってしまいました。こんな時、どうしたらよいのでしょうか。5年生の人に聞いてみましょう。

「黒い水は捨てる勇気を持つ。」

その通りです。汚れた水が入ってしまったら、そのままにしておかず、捨てる勇気を持ってください。

明日は卒業式です。この1年間で成長した姿を見せる時です。姿勢、礼、話の聞き方、心を込めた歌声など、気持ちが伝わる卒業式にしましょう。

